

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和7年 6月 2日	
福井県知事 殿	
提出者	
住所 福井県 福井市 山室町 69-1	
氏名 株式会社 ミツヤ 代表取締役社長 山原謙治	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0776-55-1055	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 ミツヤ
事業場の所在地	福井県 福井市 山室町 69-1
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	E11 繊維工業
②事業の規模	5,470百万円/年
③従業員数	250人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙①のとおり

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
別紙「組織図」のとおり

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙②のとおり	
	排出量	t	1299.802 t
	(これまでに実施した取組) 紙管を産業廃棄物から一般廃棄物の専ら物扱いに変更した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙②のとおり	
	排出量	t	1245.3 t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分類種別＝繊維くず、廃プラスチック、金属くず、燃え殻、汚泥、廃アルカリ、蛍光灯、乾電池、廃酸、廃油の分別を行い、他の廃棄物が混入しないように保管
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 同上

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) —		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	122.61 t	— t
(これまでに実施した取組) 汚泥については脱水を実施。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	120t t	— t
(今後実施する予定の取組) 引き続き、汚泥については脱水を実施する。			

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) —		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（      令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙②のとおり	
	全処理委託量	1299.802 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1068.542 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	32.24 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	199.02 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙②のとおり	
	全処理委託量	1245.3 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1217.3 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	28 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	180 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙①

【産業廃棄物の一連の処理の工程】

産業廃棄物	処理工程
繊維くず	・ 処理業者（R P F 製造）へ委託（処理後は燃料として再資源化）
燃え殻	・ 処理業者で混合固化・粉砕後、路盤材等の建設資材として再資源化
汚泥	・ 自社で脱水処理→脱水後の汚泥を処理業者（焼成）へ委託（セメント原料として再資源化）
	・ 自社で脱水処理→脱水後の汚泥を処理業者（乾燥）へ委託（肥料として再資源化）
廃アルカリ	・ 処理業者で乾燥後、セメント原料として再資源化
金属くず	・ 処理業者（再生）へ委託（再生後は原料として再資源化）
廃プラスチック類	・ 処理業者で埋立処分
廃ランプ	・ 処理業者で破碎・粉砕・脱水銀化し、ガラス原材料として再資源化
廃酸	・ 中和処理後、焼却してセメント原料・路盤材として再資源化
廃油	・ 中和処理後、燃料等に再資源化
廃電池類	・ 選別・破碎・粉砕後、金属資源として再資源化

## 別紙②

## 【産業廃棄物の排出の抑制に関する事項】

## 現状

産業廃棄物の種類	産業廃棄物の処理の委託に 関する事項	令和5年度 排出量	今後実施する予定の取り組み
繊維くず	認定熱回収事業者への処理委託量	199.02t	現状の取り組みを継続
燃え殻	優良認定処理業者への処理委託量	387.05t	現状の取り組みを継続
汚泥	優良認定処理業者への処理委託量	613.066t	汚泥脱水の継続
廃アルカリ	再生利用業者への処理委託量	5.55t	現状の取り組みを継続
金属くず	再生利用業者への処理委託量	26.69t	現状の取り組みを継続
廃プラスチック類	優良認定処理業者への処理委託量	49.46t	現状の取り組みを継続
廃ランプ	優良認定処理業者への処理委託量	0.168t	LEDに置き換えることを継続
廃酸	優良認定処理業者への処理委託量	17.30t	現状の取り組みを継続
廃油	優良認定処理業者への処理委託量	1.48t	現状の取り組みを継続
廃電池類	優良認定処理業者への処理委託量	0.018t	現状の取り組みを継続

## 計画

産業廃棄物の種類	産業廃棄物の処理の委託に 関する事項	令和6年度 排出計画量	今後実施する予定の取り組み
繊維くず	認定熱回収事業者への処理委託量	180t	現状の取り組みを継続
燃え殻	優良認定処理業者への処理委託量	370t	現状の取り組みを継続
汚泥	優良認定処理業者への処理委託量	600t	汚泥脱水の継続
廃アルカリ	再生利用業者への処理委託量	3t	現状の取り組みを継続
金属くず	再生利用業者への処理委託量	25t	現状の取り組みを継続
廃プラスチック類	優良認定処理業者への処理委託量	50t	現状の取り組みを継続
廃ランプ	優良認定処理業者への処理委託量	0.2t	LEDに置き換えることを継続
廃酸	優良認定処理業者への処理委託量	16t	現状の取り組みを継続
廃油	優良認定処理業者への処理委託量	1t	現状の取り組みを継続
廃電池類	優良認定処理業者への処理委託量	0.1t	現状の取り組みを継続

QMS・EMS 組織図

2021年5月1日

